

秋麗 (しゅうれい)

登録番号：第11119号

登録年月日：平成15年3月17日

登録者：(独) 農業・生物系特定産業技術研究機構

育成者：町田 裕 梶浦一郎 壽 和夫
佐藤義彦 増田亮一 阿部和幸
栗原昭夫 緒方達志 齋藤寿広

寺井理治 西端豊英 正田守

幸 榎村芳記 小園照雄 福

田博之 木原武士 鈴木勝征

来歴：「幸水」と「筑水」の交雑実生

育成地：茨城県つくば市藤本((独)農業・生物系特定産業技術研究機構果樹研究所)

特性

■栽培特性

樹勢は中、枝梢の長さ、太さともに中程度である。短果枝およびえき花芽の着生は中程度で、「秀玉」と同程度の花芽が確保できる。開花期は遅く、「幸水」とほぼ同時期である。結実性は中程度で、「あきづき」、「筑水」と交雑不適合であるが、他の主要品種とは交雑適合性である。

■果実特性

完熟果の果皮が黄緑色の青ナシである。果形は扁円形で、果実肥大および揃いともに良好である。有てい果および肉梗がわずかに混在する。

果実の成熟期は育成地(茨城県つくば市)で8月下旬から9月上旬であり、「秀玉」とほぼ同時期である。平均果重は約430gであるが、「秀玉」と比較すると若干小さい。果肉は白色で、硬度は4ポンド程度で軟らかく、肉質は緻密で多汁である。果汁の糖度は屈折計示度で13度前後と「秀玉」よりも高く甘味は多い。果汁pHは5.0程度で「秀玉」と同程度である。渋みはなく、好ましい風味を有し、果実品質は良好である。心腐れ、裂果の発生はほとんどみられないが、みつ症がわずかに発生することがある。果実の貯蔵性は約10日間で「秀玉」と同程度である。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

黒斑病には抵抗性で、黒星病などの主要病害に対しても通常の防除で問題は認められていない。また、特に問題となる虫害も見られない。

花芽の着生は良好であり、「秀玉」でみられる後期落果がほとんど発生しないことから、栽培は容易であるといえる。ただし、果実品質は非常に優れているが、果皮が傷つきやすく触れた部分が黒変しやすい点や、無袋栽培では果面全面にサビが発生する点など、外観がやや劣るという欠点がある。このため、無袋栽培を行う場合は、優れた果実品質を直接消費者に説明して理解を得ることのできる観光農園等の直売方式での普及が考えられる。一方、袋掛けを行った場合は、「秀玉」と異なりサビがほとんど発生せずきれいに仕上がるが、果実の糖度が低下することが知られており、その点を考慮する必要がある。

■地域適応性

系統適応性検定試験の結果、東北各県では収量、果実重ともにやや低くなるものの、果実品質は優れると評価されている。一方、九州各県においても他地域とほぼ同様の成績を示していることから、わが国のナシ栽培地域全域でその特性を発揮できると考えられる。

(高田教臣)